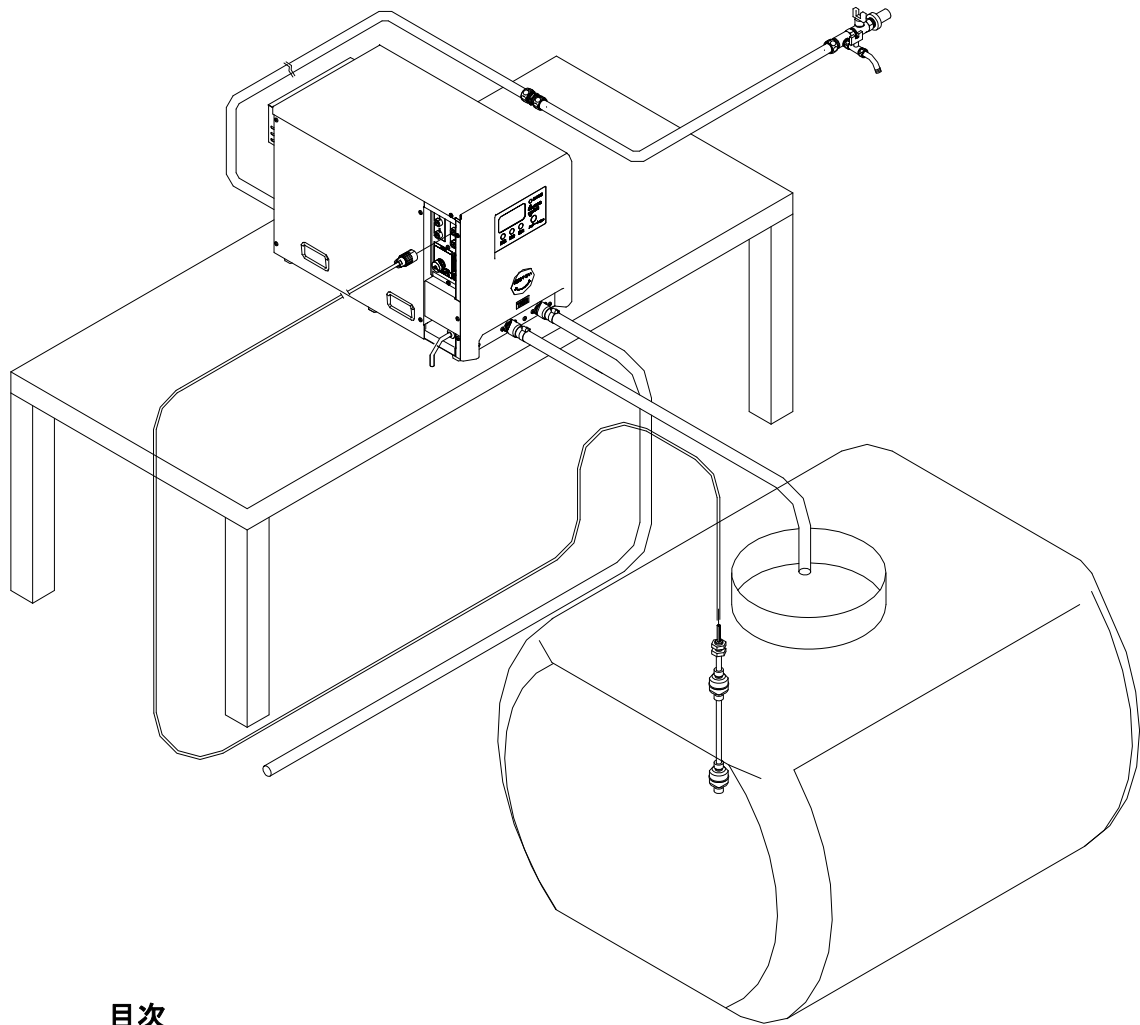


# AG-30 (TI-30)

## 水位(フロート)センサー仕様の設置



### 目次

1. 水位(フロート)センサーについて	1
2. 別売品	1
3. 水位(フロート)センサーの配線接続	1
4. 水位(フロート)センサーの貯水タンクへの設置	2
5. 本体側の水位(フロート)センサーケーブル接続	3
6. フロート [水位(フロート)センサーによる自動給水] 機能の設定方法	4
異常を表す表示 [画面が黄色に点灯]	5
警告を表す表示 [画面が赤色に点灯]	5

## 1. 水位（フロート）センサーについて

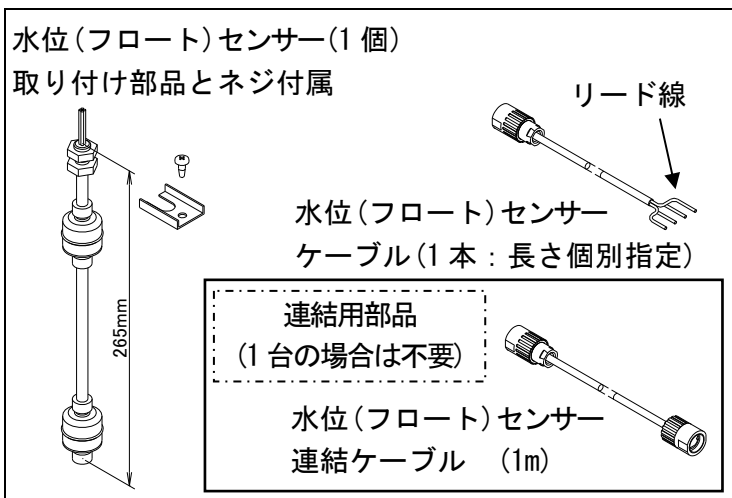
貯水タンク内の水位を検知する水位（フロート）センサー（別売品）を取り付けると本体の給水（通水）を自動制御することができます。

## 2. 別売品

水位（フロート）センサー セット

※水位（フロート）センサー セットは別売品です。AG-30 の付属品には含まれていません。

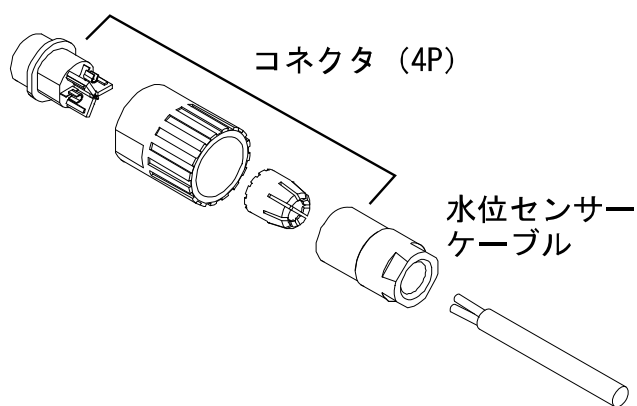
※連結用部品の水位（フロート）センサー 連結ケーブルは複数台を1つの水位（フロート）センサーで制御する場合のみ、台数分必要になります。ご使用状況に応じての取り付けとなります。



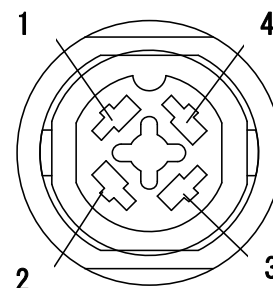
## 3. 水位（フロート）センサーの配線接続

コネクタ ピン NO.	水位（フロート）センサー ケーブルリード線色	水位（フロート） センサー信号	水位（フロート） センサーリード線色
1	赤	L (Low)	白
2	黒	H (Hi)	黒
3	白赤	E (COM) 共通	白
4	白黒	E (COM) 共通	黒

コネクタ分解図（参考）



コネクタ前面（参考）

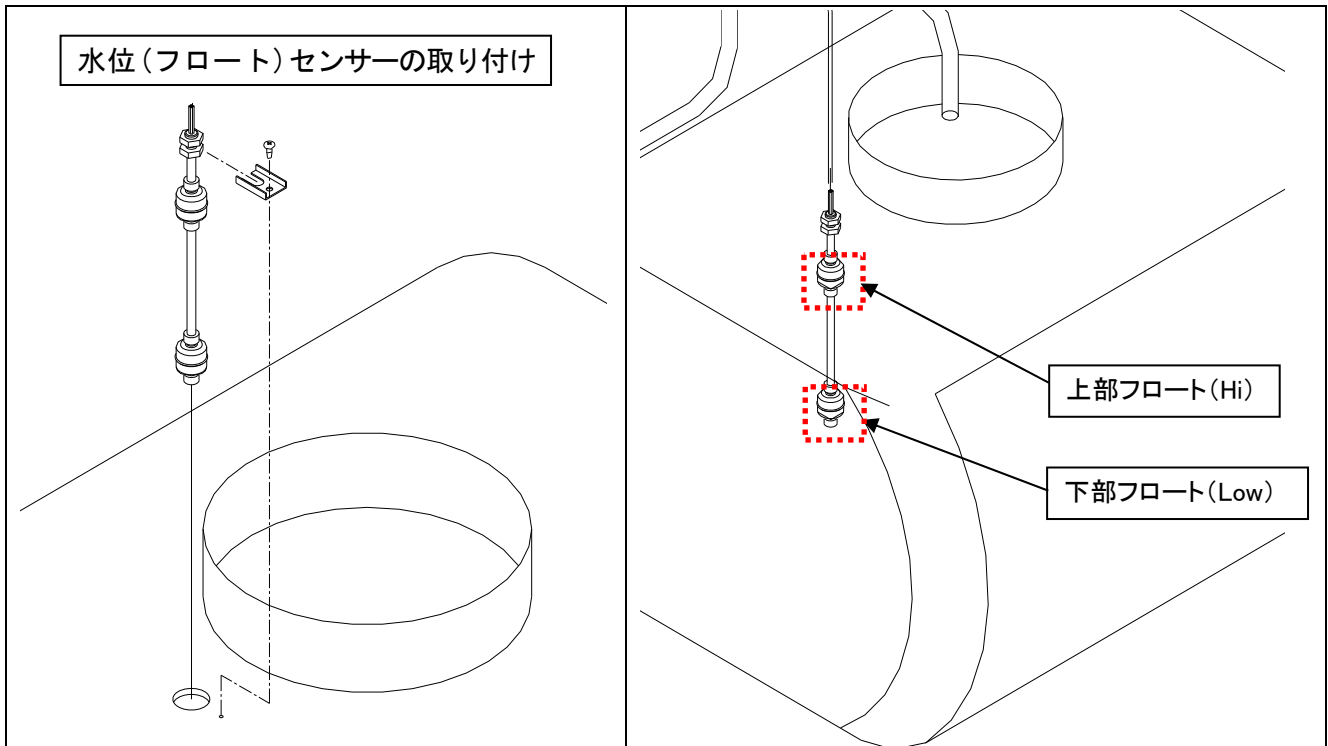


- ① 水位（フロート）センサーのリード線にケーブルを接続します。ケーブル及びコネクタの接続は、上図及び表を参照願います。
- ② 水位（フロート）センサーは、垂直になるように取付けて下さい。尚、水位（フロート）センサーの信号は、b接点信号です。
- ③ 水位（フロート）センサーは、水面が水位（フロート）センサーの下部フロート(Low)より下になると給水（通水）が始まり、水面が上部フロート(Hi)より上になると給水（通水）を停止します。

#### 4. 水位(フロート)センサーの貯水タンクへの設置

- ① 貯水タンクの設置は、本体の近く(5m以内)に設置して下さい。
- ② 水位(フロート)センサーは貯水タンクの上部(下図参照)に取り付けて下さい。
- ③ 水位(フロート)センサーは、水面に対して垂直に取り付けて下さい。

※貯水タンクの形状は各種ある為、下記では一般的な貯水タンクに水位(フロート)センサーを取り付けについて図示しています。



※水位(フロート)センサー用の穴をあける場合、穴径を 30 mmにすると、水位(フロート)センサーを上から取り出せます。また穴径 20mm でも本体に取り付けたコネクタを外し下に取り出すことは可能です。

※水位(フロート)センサーには簡易的な取り付け部品とネジが付属されていますが、満水位の位置を変える場合や、タンクによっては付属品だけでは垂直に取り付けることができない場合がある為、市販品の穴あきフラットバー等を加工して取付け金具を別途作製し、取り付ける必要があります。

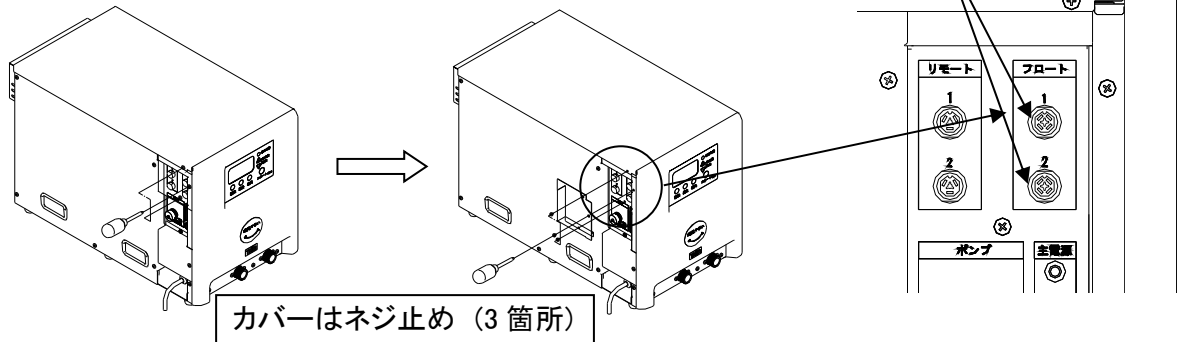
※取水、排水ホース用の穴をタンクにあける場合の穴径は 30 mmです。

- ④ 水位(フロート)センサーは、藻などの発生により動作を妨げられる場合があります。上部と下部のフロートのスムーズな上下動作を定期的(1か月に1回以上)に確認し、動作がしにくくなっている場合は柔らかい布等で清掃して下さい。

## 5. 本体側の水位(フロート)センサーケーブル接続

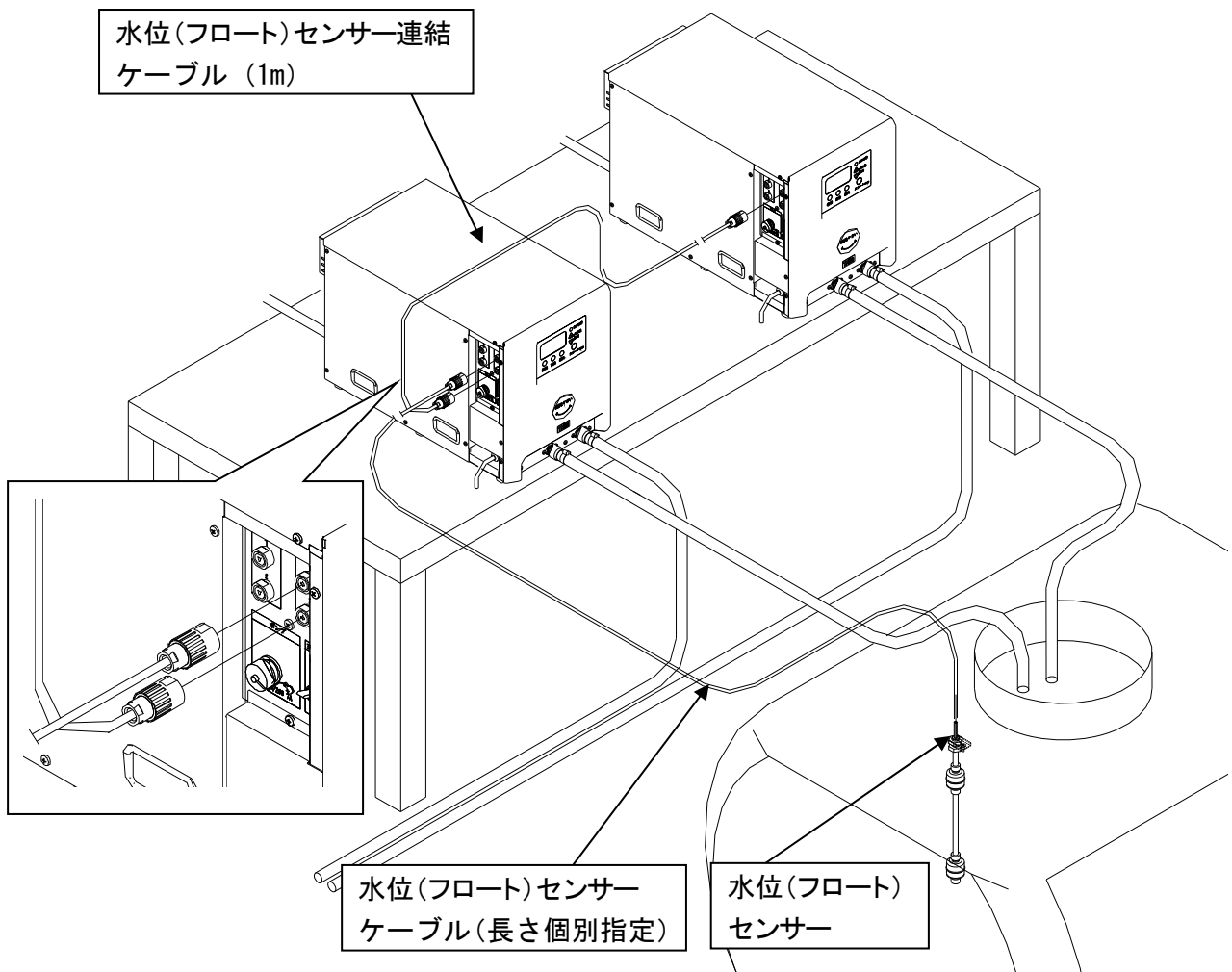
※ 本体設置については「設置説明書」をお読み下さい。

- ① 本体側面のカバーを外し、**フロート**枠内にある水位(フロート)センサーケーブル接続用コネクタ(2個の内どちらか)の片側に、「水位(フロート)センサー」のコネクタを接続します。



- ② 本体が2台以上の場合(連結した場合1つの水位(フロート)センサーで複数台の給水制御が可能)  
※但し「還元水」、「混合水」、「酸性水」の選択、及び電解レベルの選択は個々に設定を合わせる必要があります。

一台目の**フロート**枠内にある2個目の水位(フロート)センサーケーブル接続用コネクタに「水位(フロート)センサー連結ケーブル」を接続し、もう一方は、2台目本体の**フロート**枠内にある水位(フロート)センサーケーブル接続用コネクタ(2個の内どちらでもいい)に接続します。



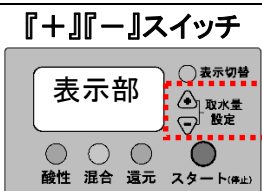

- ③ 3台目以降、接続する場合も同様です。

## 6. フロート[水位(フロート)センサーによる自動給水]機能の設定方法

整水の種類: 用途に応じて、還元水・混合水・酸性水の選択及びレベルを調整して下さい。

※フロート機能以外の操作方法は「取扱説明書」を参照して下さい。(取扱説明書 P.9 参照)

### ① フロート機能の設定画面(水位(フロート)センサー仕様の時の表示)

コントロールパネル	表示内容	内容説明
	フロート動作時 	1.フロート機能の設定方法 「ためる水量」の設定で取水量設定の『-』スイッチを 10 ㍓になっても長押し続けると、フロート動作を表示します。(取扱説明書 P.8,9 参照)

### ② 連続容量(安全装置)の設定方法

本機はオーバーフロー対策として連続で取水する水量の設定ができます。(最大 9900 ㍓)

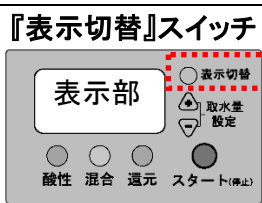
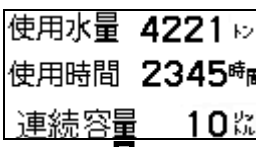
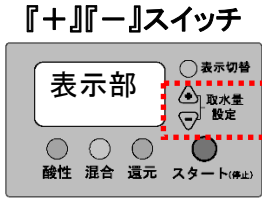
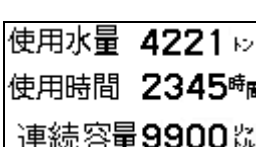
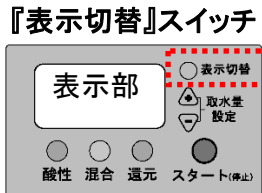

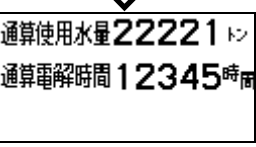
#### A) 1 回に使う使用量がタンク容量を超えない場合の目安

・タンク容量より 10~15%多めに設定(例: タンク容量 500 ㍓→連続容量設定 550~560 ㍓)

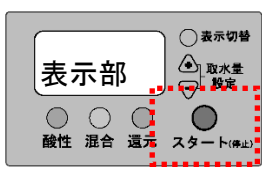

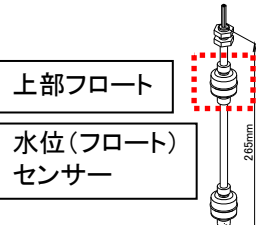
#### B) 1 回に使う使用量がタンク容量より多い場合の目安

・1 回に使う使用量より 20~30%多めに設定(例: 実使用量 5000 ㍓→連続容量設定 6000~6200 ㍓)

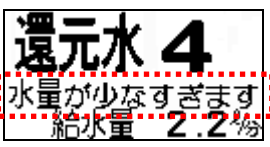
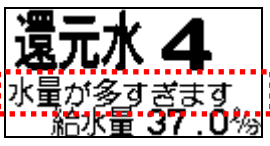

※「連続容量」の値が小さいと水位(フロート)センサーが水に浸らなくても給水が止まりますのでご注意下さい。

コントロールパネル	表示内容	内容説明
	下限値 	「使用水量」、「電解時間」、「連続容量」表示 『表示切替』スイッチで選択 水位(フロート)センサーを接続した場合、待機中に『表示切替』スイッチを押すと表示されます。 ・「使用水量」は本器がこれまでに使用した総水量です。 ・「電解時間」は本器がこれまでに使用した総時間です。 ・「連続容量」は本器の最大連続取水量です。 (設定範囲 10~9900 ㍓)
	上限値 	取水量設定の『+』『-』スイッチ押すことで「連続容量」を増減することができます。(10 ㍓単位)『+』『-』スイッチ長押しすることで設定変化量を変える。(取扱説明書 P.9 参照)
	 	※1 分間放置すると「ためる水量」表示になり、また 1 分以内に『表示切替』スイッチを押すと「通算使用水量」、「通算電解時間」を表示します。『表示切替』スイッチをもう一度押すと「フロート動作」を表示します。

### ③ 給水(通水)開始

	フロート動作時  	設定後(最終操作)から 1 分後、もしくは『スタート(停止)』スイッチを押すと給水がスタートいたします。給水(通水)開始後、水位(フロート)センサーの上部フロートが 10 秒間浮いた状態で保たれるか、設定した連続容量に給水(通水)量が達しますと自動で給水(通水)が停止いたします。任意で給水(通水)を止める場合は再び『スタート(停止)』スイッチを押して下さい。 ※停止する場合は『スタート(停止)』スイッチをもう一度押すと 7 秒後止水します。 ※本体を 2 台以上連結している場合、全ての機器で同様の作業を行って下さい。
---	---	---

## 異常を表す表示 [画面が黄色に点灯]

表示内容	内容説明	
	<p>■水量が少なすぎます 表示 [文字点灯/画面が黄色に点灯/警告音] 給水(通水)量が5ℓ/分以下の場合には電解出来ません。 ※5分連続表示で異常発生表示に移行(対処方法:取扱説明書 P.19 参照)</p>	
	<p>■水量が多すぎます 表示 [文字点灯/画面が黄色に点灯/警告音] 給水(通水)量が35ℓ/分以上の場合に表示されます。 ※5分連続表示で異常発生表示に移行(対処方法:取扱説明書 P.19 参照)</p>	
	<p>■電解槽の交換時期です 表示 [文字点灯/画面が黄色に点灯/警告音] 電解槽は消耗部品です。電解槽の交換時期になると待機中に表示されます。 ※表示されときは、当社までご連絡下さい。(裏表紙)</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>異常発生</b> エラー番号         </div> <p>●エラー番号が表示されます。</p>	<p>■異常発生 表示 [文字点灯/画面が黄色に点灯/警告音] ※下記のエラー番号が表示されます。(対処方法:取扱説明書 P.19 参照)</p>	
	調べるところ	処 置
	No.501 クロスラインバルブ異常	クロスラインバルブの回転終了信号なしの場合。
	No.502 電源出力異常 (過熱休止)	長時間の連続使用や、水質や周囲温度により、本器のオーバーヒートによる故障を防止する為、自動停止する場合。
	No.503 通水量 過少	通水量が少なすぎる場合。
	No.504 通水量 過多	通水量が少なすぎる場合。
	No.505 フロート異常 (満水検出中に渴水検出など)	<p>対処方法</p> <p>●水位(フロート)センサーの状態を確認して下さい。藻の発生などにより、フロート動作不良が発生している可能性があります。その後、本体の主電源ブレーカーをOFFにして15秒後に再度、本体の主電源スイッチをONにして下さい。</p>
	No.506 電解槽異常	水質の変化や電解槽異常が発生した場合。
	No.507 温度センサー異常	本体温度の異常な上昇、異常に低温な場合、及び断線した場合。
	No.508 低抵抗異常	塩水など極端に抵抗値の低い水を電気分解しようとした場合。
No.509 電磁弁異常 (異物噛み込等)	電磁弁へのゴミ噛み込みなどにより、正常に止水できない場合。	

## 警告を表す表示 [画面が赤色に点灯]

表示内容	内容説明	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>本体故障</b> エラー番号         </div> <p>●エラー番号が表示されます。</p>	<p>■本体故障 表示 [文字点灯/画面が赤色に点灯/警告音] ※下記のエラー番号が表示されます。エラー番号メモして、当社にご連絡下さい。</p>	
	エラー番号と内容	エラー検出内容
	No.101 メイン⇄表示基板 通信不通	通信不通が検出できなかった場合。
	No.102 電源出力コントロール不能	電源出力コントロール不能になった場合。
	No.103 過電流異常	電解電流が異常に高い場合。
	No.104 過電圧異常	電解電圧が異常に高い場合。
	No.105 電源出力異常	電源の故障が原因で、電気分解が出来ない場合。

■製品、使用上のお問い合わせおよびご要望は

株式会社日本トリム

ミズハ トリム

フリーダイヤル 0120-328-106

受付時間 9:00~18:00 / 土日祝日は休業日  
※最寄りの事業所につながります

発売元

株式会社 日本トリム

本社 / 〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田二丁目2番22号 ハービス ENT オフィスタワー22 階

PHONE.06-6456-4600

初版：平成27年2月20日